



デンタル ニュース



2013年
12月号

もうすぐクリスマス。街中にイルミネーションやクリスマスの飾りつけが彩られ始めると、気持ちも華やぎますね。クリスマスのカラーといえば、「緑・赤・白」の3色です。皆さんはこの色にそれぞれ意味があるのをご存知でしょうか？

クリスマスは今や日本になくってはならないイベントですが、もともとは、イエス・キリストの誕生を祝うお祭りです。なので、このクリスマスカラーもキリストにちなんだ意味を持っています。赤は太陽の炎やキリストが流した血の色で、愛を。ヒイラギの赤い実や、ポインセチアの赤、サンタクロースの服装が赤色ですね。緑はモミノキのような常緑樹が冬にも葉を落とさない姿や、キリストがつけていたひいらぎの冠にちなみ、永遠の命や愛を。白はクリスマスに降る雪で純潔や春を待つ希望を表すと言われていています。色の意味を知るだけでも、街中の飾りつけがもっと楽しくなるような気がしますね。この季節はクリスマス以外にも忘年会などで人と会うことが多くなります、歯をホワイトニングして、素敵な笑顔で今年一年を振り返ってみてはいかがでしょうか？

たんぽぽ歯科からお知らせ



ホワイトニングで白い歯にしませんか？



[http:// www.tanpopo - dc.com/](http://www.tanpopo-dc.com/)

たんぽぽ歯科

住 所 海老名市河原口3-20-12 西山ビル

電 話 046-235-2233

診療科目 一般歯科、小児歯科、
歯列矯正、審美歯科、
インプラント、予防検診、
3Mix 法、フッ素塗布

モバイルサイト



携帯サイトは
こちらから



歯が黄色いコンプレックス！

★歯が黄色いのはコンプレックス？

歯のお悩みの中で断トツに多いのが、歯が黄色いというお悩みです。特に中高年になると気にされる方が増えるようです。何年か前に、『芸能人は歯が命』なんていう言葉が流行りましたが、白く輝く笑顔は、みんなの憧れですよ。



★歯が黄色い原因は？

■歯の表面が汚れている

マグカップなどにつく茶渋と同じで、毎日歯を磨いていても、コーヒー、赤ワイン、カレーなどの食べ物に含まれる色素により、少しずつ黄ばんでしまいます。

また、タバコにふくまれるヤニは、歯に付着すると黒っぽくなります。

■加齢による変色

年をとるにつれ、エナメル質が削れていくと、中の黄色い象牙質が透けて見えやすくなり、歯が黄色くなったように感じます。

■過去の歯科治療によるもの

保険の治療で使用するレジン（歯科用プラスチック樹脂）は、劣化しやすく変色しやすい素材です。差し歯や詰め物の変色は、ほとんどがこのレジンの変色です。

また、虫歯治療などで神経を抜いたり、外傷などで歯髄内で出血したりした場合、歯の内部から黒く変色する場合があります。

■薬の副作用によるもの

テトラサイクリンという抗生物質を歯の形成期に服用すると、乳歯の下の生える前の永久歯に、副作用で茶色からグレーの色の帯がつくことがあります。子供の頃にこの薬を服用された方は、永久歯に着色の帯がついていることがあります。

★歯を白くしたい！



歯の色の治療は保険がきかないので自費になります。変色の原因が着色の場合は、PMT Cという専門のクリーニングを受けると、かなり白くなります。着色がひどい場合はジェットポリッシャーという専用の器具を使用します。レジンを使った歯科治療で黄色く変色した場合は、詰め物やかぶせ物をセラミックなどの白い素材に変えれば、元々の歯と見分けがつかないほど、白く自然な歯にすることが出来ます。

歯の黄ばみが気になる方にはホワイトニングがお勧めです。ホワイトニングは、人体に安全な薬を使用して歯を漂白する方法です。詰め物や被せものは白くならないので、セットする前にホワイトニングをする必要があります。歯が白くなると年齢が5歳若返って見えるという説もあります。歯の色にお悩みでしたらぜひご相談ください。



たんぽぽ歯科
TANPOPO DENTAL CLINIC

